

# 上下位置を自由に入れ替える

ボックスの上下位置を指定するには `position` プロパティを使用します。「`position: absolute;`」を指定したボックスは、自由な位置に配置できます。配置の基点となるボックスの `position` プロパティの値は `relative`、`absolute`、`fixed` のいずれかです(一般的には `relative`)。

```
<div id="header">
  <h1></h1>
  <p>オリジナルアクセサリーのオンラインショップ「Accessory Shop」へようこそ！</p>
</div>
```

HTML ソースは上記のようになっていますが、ロゴ画像(h1 要素)とタグライン(p 要素)の表示位置を上下入れ替えてみましょう。



まず、親要素の `#header` を基点とするため「`position: relative;`」を設定します。

```
#header {
  position: relative;
}
```

ロゴ画像(h1 要素)とタグライン(p 要素)には「`position: absolute;`」(絶対配置)を指定した上で、`#header` を基点として `top/right/bottom/left` プロパティで任意の位置に配置します。  
ロゴ画像は `#header` の左端から 23px/上端から 45px の位置、タグラインは右端から 10px/上端から 10px の位置に配置します。

```
#header h1 {
  position: absolute;
  left: 23px;
  top: 45px;
}
#header p {
  position: absolute;
  right: 10px;
  top: 10px;
}
```

## カルーセルを追加する

以下の画像 3 点をカルーセル(回転木馬)のようにアニメーション表示します。  
今回は、jQuery プラグインの「slick」 <http://kenwheeler.github.io/slick/> を利用します。

```
<div class="fade">
  <div></div>
  <div></div>
  <div></div>
</div>
```

head 要素の中で、ダウンロードした CSS を読み込みます。

```
<link rel="stylesheet" href="slick/slick.css">
<link rel="stylesheet" href="slick/slick-theme.css">
```

</body>の直前で、jQuery および slick スクリプトを読み込みます。

```
<script src="http://code.jquery.com/jquery-1.11.0.min.js"></script>
<script src="http://code.jquery.com/jquery-migrate-1.2.1.min.js"></script>
<script src="slick/slick.min.js"></script>
```

続けて、.fade に対して「slick」を起動するためのスクリプトを記述します。設定(自動再生を ON、フェード効果を ON)もあわせて記述します。

\$(document).ready(function(){ と }); の間に記述された処理は、HTML の読み込みが終わったら時点で実行されます。

```
<script>
$(document).ready(function(){
  $('.fade').slick({
    autoplay:true,
    fade:true
  });
});
</script>
```

## 「最低の高さ」を確保する

以下のようなデザインを実装する場合、右側のバラの画像は `img` 要素としてではなく背景画像として表示したほうが望ましいといえます。なぜなら、このバラの画像はタイトルや本文とは直接関係がない「イメージ写真」であり、装飾の意味合いが強いからです。

### 世界に一つだけのオリジナルアクセサリー

当店で取り扱う商品は、すべて一点もののオリジナルアクセサリー。あなただけのアクセサリーをオーダーメイドでお作りすることも可能です。どうぞお気軽にご連絡ください。



HTML ソースはこのようになります。

```
<div class="lead">
  <h2></h2>
  <p>当店で取り扱う商品は、すべて一点もののオリジナルアクセサリー。あなただけのアクセサリーをオーダーメイドでお作りすることも可能です。どうぞお気軽にご連絡ください。</p>
</div>
```

`div.lead` の背景画像としてバラの画像を指定するわけですが、ここで注意しなくてはいけないのが、「`h2` 要素と `p` 要素の内容」が「画像の高さ」に満たない場合に画像が欠けてしまう可能性があることです。

### 世界に一つだけのオリジナルアクセサリー

当店で取り扱う商品は、すべて一点もののオリジナルアクセサリー。あなただけのアクセサリーをオーダーメイドでお作りすることも可能です。どうぞお気軽にご連絡ください。



この現象を避けるために、`min-height` プロパティで「画像の高さ」をボックスの「最低の高さ」として確保しましょう。

まず、バラの画像 (pict\_rose.jpg) を div.lead の背景画像として「繰り返し:なし」「表示位置:右上」で配置します。次に「最低の高さ」を指定します。min-height プロパティで任意の数値を指定 (画像の高さ=100px) します。

```
#main .lead {  
    background-image: url(../img/pict_rose.jpg);  
    background-repeat: no-repeat;  
    background-position: right top;  
    min-height: 100px;  
}
```

続けて、p要素をスタイリングしましょう。

テキストがバラの画像に重ならないよう、width プロパティで幅 (375px) を指定します。

テキストの margin 値は em 単位で指定すると、文字サイズに合わせて拡張するため自然な間隔をとることができます。

行高 (line-height) の値を単位つきで指定すると「文字つぶれ」が起こる可能性があるため、単位なしで指定 (1.5) しましょう。倍数指定 (文字サイズの 1.5 倍) したことになります。

```
#main .lead p {  
    width: 375px;  
    margin-top: 1em;  
    line-height: 1.5;  
}
```

## 商品説明ボックスを横並びに配置する



NEW

アンティークな雰囲気チェーンがポイント。

Detail



NEW

大きめのペンダントヘッドは樹脂にビーズを閉じ込めてあります。Tシャツなど夏の装いにぴったり。

Detail



赤のワンポイントでさりげない存在感。

Detail

まず商品ボックス全体を囲む div 要素 (div.item-list) の上部に間隔 (30px) をとります。次に、スタイリングのためにあらかじめ用意した div 要素 (#main div.item-list div) を利用して、h2 との間隔 (10px) を指定します。

商品はひとつずつ dl 要素でマークアップしてあります。まず h2 との間隔 (10px) を指定したら、次に右方向の余白 (22px) と幅 (200px) を指定の上 float プロパティで横並びにし、枠線 (solid 1px #ccc) で囲みます。

```
#main .item-list {  
    margin-top: 30px;  
}  
#main .item-list dl {  
    margin-top: 10px;  
    margin-right: 22px;  
    width: 200px;  
    float: left;  
    border: solid 1px #ccc;  
}
```

3 つ目の dl が 1 列に入りきらずに落ちてしまう場合には、3 つ目の dl のみ右方向の余白をゼロにします。他の dl 要素と区別するため、class もしくは id 属性で名前をつけてください。

```
#main .item-list .last {
    margin-right: 0px;
}
```

dl 要素に float プロパティを利用しているので、clearfix を忘れずに記述してください。

下線の位置がまちまちになっている状態を避けるため、jQuery プラグイン「jquery.heightLine.js」を利用します。 <http://blog.webcreativepark.net/2013/10/21-112000.html>

カルーセルのために読み込んだ slick.min.js の次行で、jquery.heightLine.js を読み込みます。

```
<script src="js/jquery.heightLine.js"></script>
```

このサンプルではすでに jQuery が読み込まれています（「slick」利用のため）が、もし「jquery.heightLine.js」だけを利用する場合には jQuery もあわせて読み込むのを忘れないようにしましょう。「slick」関連のスクリプトの下に、「heightLine」を起動するための 1 行を追加します。  
.item-list dl に対して起動します。

```
<script>
$(document).ready(function() {
    $('.fade').slick({
        autoplay: true,
        fade: true
    });
    $(".item-list dl").heightLine();
});
</script>
```

CSS3 の「Flexible Box (Flexbox)」という仕様を使うと簡単に高さを揃えることができます。高さ揃えだけでなく、横並びの配置も float プロパティを使うことなく実現できます（それにともない、clearfix も不要になります）。ただし、IE10 未満では対応していない（IE10 ではベンダープレフィクス付きの独自記述で対応）ので注意が必要です。

```
#main div.item-list div{
    display: -ms-flexbox;
    display: flex;
}
```

## a を「ブロックレベル要素」として装飾する

商品写真画像にリンクをはるために用意した a 要素を利用して、画像から少し離れた位置に枠線をひき、オンマウスで枠線の色を変える効果をつけます。

まず border プロパティでグレーの実線 (solid 1px #dfdfdf) をひきます。さらに、枠線と画像とのすき間を padding プロパティで指定 (1px) します。

```
#main .item-list dt a {  
  border: solid 1px #dfdfdf;  
  padding: 1px;  
}
```

しかし、これだけだと思ったような結果になりません。理由は、a 要素が「インライン要素の見た目」を持っているからです。そこで、a 要素の表示形式をブロックレベル要素のそれに変更することで解決できます。表示形式を指定するためのプロパティ「display」の値を「block」に変更します (a 要素の初期値は「inline」)。

ブロック・ボックスは親要素の幅いっぱいに広がって表示されますので、幅を指定 (180px) します。続けて高さも指定 (180px) します。

```
#main .item-list dt a {  
  border: solid 1px #dfdfdf;  
  padding: 1px;  
  display: block;  
  width: 180px;  
  height: 180px;  
}
```

hover: 擬似クラスを使って、商品画像にカーソルが乗ったときの枠線の色 (#9ec24b) を指定します。

```
#main .item-list dt a:hover {  
  border-color: #9ec24b;  
}
```

# 横並びのボックス内にある要素の上下位置を指定する

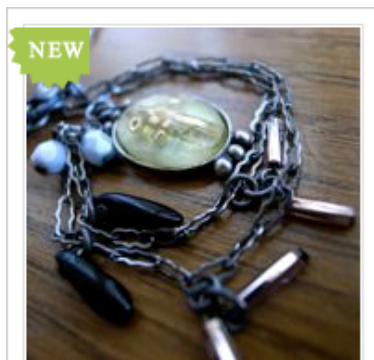
## 「NEW」アイコンの位置

HTML ソースでは商品写真 (dt) の下に記述されている「NEW」アイコン (dd.icon) ですが、商品写真に重ねて表示してみましょう。

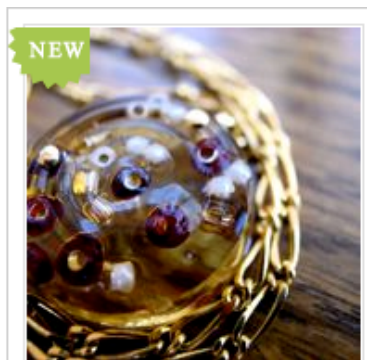
まず基点となる各商品ボックス (div.item-list div dl) に「position: relative;」を追加します。

続けて、「NEW」アイコンを含む dd 要素 (dd.icon) のスタイリングを行います。

「position: absolute;」(絶対配置)を指定の上、基点となるボックス (div.item-list div dl) の上端からの距離を top プロパティで指定 (10px) します。この時点で「NEW」アイコンの位置が引き上げられ、商品写真に重なりました。



アンティークな雰囲気チェーン



大きめのペンダントヘッドは樹脂

次に左端からの距離を left プロパティで指定 (146px) します。

```
#main .item-list .icon {  
    position: absolute;  
    top: 10px;  
    left: 146px;  
}
```



## 「Detail」ボタンの位置

商品説明文のボリュームによって、「Detail」ボタンの位置が上下しないようにします。

「position: absolute;」を指定して絶対配置とします。bottom プロパティで、基点となる各商品ボックス (div.item-list div dl) の下端からの距離を指定 (8px) したら、ボタンが中央に表示されるよう left プロパティで左端からの距離を指定 (21px) します。

```
#main .item-list .button {  
  position: absolute;  
  bottom: 8px;  
  left: 21px;  
}
```



しかしこれでは「Detail」ボタンが文章に重なってしまうため、基点となっているボックス (div.item-list div dl) に padding-bottom プロパティを指定します。

「Detail」ボタンは div.item-list div dl の下端から 8px の位置に配置されるので、「Detail」ボタンの高さ (34px) + 8px = 42px を padding-bottom の値としておけば、文章と重ならなくなります。さらに文章と「Detail」ボタンとの間隔を 12px とりたいので、54px (42px + 12px) を指定しましょう。

#main div.item-list div dl のスタイルは、このようになりました。

```
#main .item-list dl {  
  margin-top: 10px;  
  margin-right: 22px;  
  width: 200px;  
  float: left;  
  border: solid 1px #ccc;  
  padding-bottom: 54px;  
}
```

## ブロック・ボックスを右寄せに配置する

多くの Web ページで見かける、画面右下に配置された「ページの先頭へ戻る」リンク。テキストだけでシンプルに表示するなら問題ありませんが、複雑な装飾をほどこす場合にはブロック・ボックスにした上で右寄せに配置する必要があります。

HTML ソースは以下のとおりです。

```
<p class="page-top"><a href="#header">ページトップへもどる</a></p>
```

最初に p 要素のスタイリングを行います。上方向の間隔 (30px) と文字サイズ (85.7%) を指定します。

```
#main .page-top{
  margin-top: 30px;
  font-size: 85.7%;
}
```

続けて a 要素のスタイリングです。a 要素はインライン要素の見た目を持っていますが、背景画像を調整するため「display:block;」を指定します。さらに右寄せにするため「float:right;」を指定します。

続けて、背景画像 (icn\_totop.png) を「繰り返し:なし」「表示位置:左・中央」で指定します。テキストがアイコンに重ならないようにするため、padding-left プロパティも指定 (20px) してください。

```
#main .page-top a {
  display: block;
  float: right;
  background-image: url(../img/icn_totop.png);
  background-repeat: no-repeat;
  background-position: left center;
  padding-left: 20px;
}
```

以下のようになります。



拡大してみると、背景画像の下端が切れています。これは、テキストの高さがアイコン画像の高さに満たないことが原因です。

## ページトップへもどる

「最低の高さ」(16px)を確保しましょう。

```
#main .page-top a {  
    display: block;  
    float: right;  
    background-image: url(../img/icn_totop.png);  
    background-repeat: no-repeat;  
    background-position: left center;  
    padding-left: 20px;  
    min-height: 16px;  
}
```

a 要素にポインターが乗ったときにアイコンが変更されるようにします。

```
#main .page-top a:hover {  
    background-image: url(../img/icn_totop-on.png);  
}
```

最後、clearfix を忘れずに行ってください。